

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県高梁市 国保成羽病院

| 法適用区分  | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分         | 管理者の情報     |
|--------|---------|---------|--------------|------------|
| 当然財務   | 病院事業    | 一般病院    | 50床以上～100床未満 | 非設置        |
| 経営形態   | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1    | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営     | 10      | -       | ド訓           | 救臨へ輸       |
| 人口（人）  | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院    | 看護配置       |
| 26,020 | 8,307   | 第2種該当   | -            | 10：1       |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般）   | 許可病床（療養）   | 許可病床（結核）      |
|------------|------------|---------------|
| 54         | 42         | -             |
| 許可病床（精神）   | 許可病床（感染症）  | 許可病床（合計）      |
| -          | -          | 96            |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般+療養） |
| 44         | 15         | 59            |

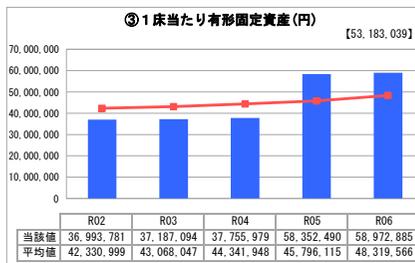
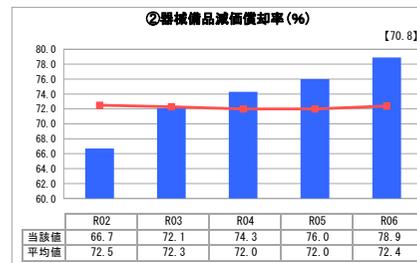
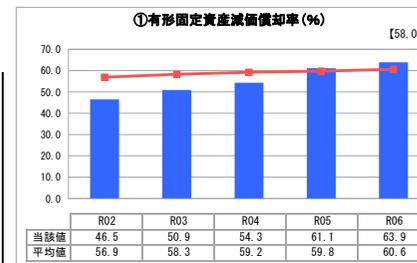
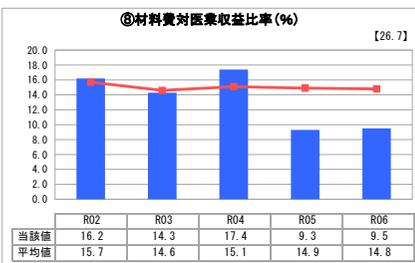
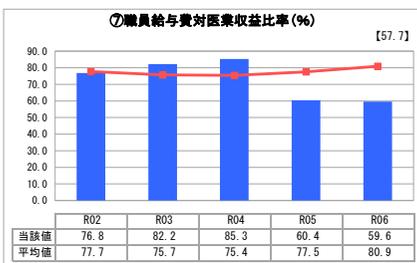
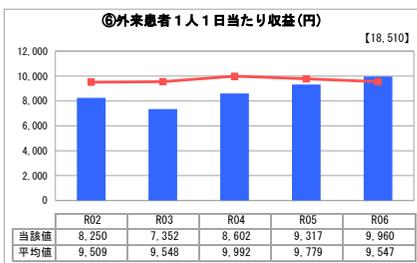
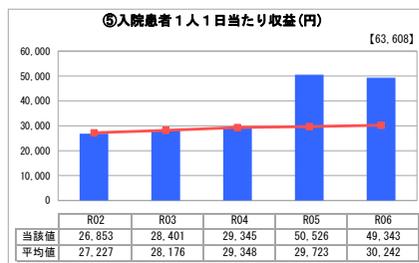
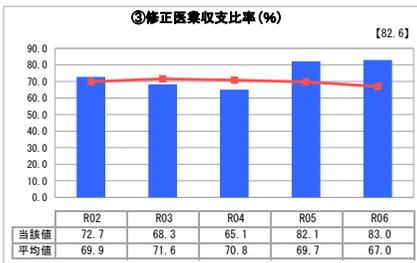
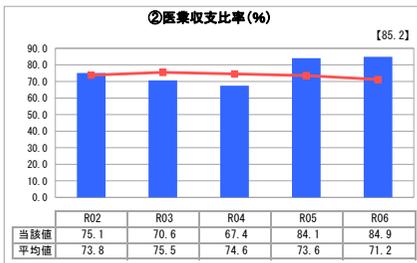
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

| 機能分化・連携強化<br>(従来の専従・ネットワーク化を含む) | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|---------------------------------|-----------|-----------|
| -                               | -         | -         |
| 年度                              | 年度        | 年度        |

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況

### I 地域において担っている役割

高齢化率の著しく高い高梁市西部地域において医療を担う唯一の公立病院です。人口減少や若年層の急速な進展、生活習慣病の増加等による疾病構造の変化、医療の高度化・専門化等、医療環境が大きく変化する中において、地域医療を確保するための公立病院としての重要な役割を果たしてきています。  
また、新型コロナウイルス感染症の入院患者受入れ、発熱外来の設置、ワクチン接種業務の受入れ等、公的病院の責務と捉え積極的に取り組んでいます。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度に川上医療センターを附属化したことにより、医療収益、医療費用とも増えています。それに伴い令和4年度以前と令和5年度以降で大きく異なっています。  
成羽病院本院では、本館の建て替えによる減価償却費の増、人口による給与費の増、物価上昇等による経費の増が影響したことにより医療収益は減少となっています。  
そのため、経常収支比率は平均値を大きく下回っている。また、医療収支比率は平均値を上回っているが、成羽病院本院のみと平均値は下回っていると推測されます。  
またコロナ禍に病床制限したことが影響し、コロナウイルスが5類後も病床利用率が回復していない状況です。

#### 2. 老朽化の状況について

本館を平成24年度に建て替えており、また旧施設を使用しているMR I棟についても、本館建て替えと同時に改修されています。そのMR I棟については、令和11年度までに既存不適格となっている部分を改修する必要があります。  
また、本館についても建て替えから12年が経過し、エコキュート等の附属設備の更新、建て替え時に購入していた医療機器の更新が集中しているため、計画的な更新を行う必要があります。

#### 全体総括

前年度に引き続き、人動による人件費の増、物価高騰に加え人口減少に伴う医療収益の減により病院経営は非常に厳しい状況となっています。  
このような状況ではありますが、地域において必要な医療を安定的、継続的に提供し、地域医療を守るべく、経営の健全性、効率性を求めて病院改革に取り組んでいきます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。